

モーツァルト・サロン会報 NO.81

第81回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ 「矢島愛子ピアノリサイタル」特集

2023 年 5 月 28 日号



モーツァルト：ロンドニ長調 K.485

ご挨拶

お天気に恵まれた5月28日(日)14:00 からモーツァルト・サロンでは「矢島愛子ピアノリサイタル」が開かれました。

矢島さんの音楽に対する思いや魅力的なお人柄が滲み出ているトークの内容を掲載しましたのでお楽しみ下さいませ。

幕開けは、「モーツァルト：自動オルガンのためのアンダンテ」です。演奏後にお話がありました。「こんにちは。今日はお忙しい中、コンサートにお越し下さいましてありがとうございます。このサロンでは、折に触れて演奏する機会があり、私にとって、とてもとても大事な場所です。ドイツ留学から最初に帰ってきて、20 代の後半で“ああ、これから人生どうなっちゃうのかな”って心配で不安だった時に、帰国後初めてここでリサイタルをし、とても励まして頂いた事が本当につい昨日の事の様に思い出されます。大学院の国家資格試験の1カ月前に、こちらでそのプログラムの全曲を演奏したり、ヴァイオリンの永井公美子さんと何度もここで共演しました。今演奏させて頂いたのはモーツァルトの可愛い曲です。可愛いと言ながらも難しい曲だったんですけど、聴いている分にはとても楽しくて素敵な曲だと思います。この後演奏するのは、シューマンの“森の情景”です。前から弾いてみたいなどは思っていたものの、ちょっと大きいホールで弾くには、どうかなと思っていて、今回このコンサートのために勉強しました。私はドイツに7年住んでいたのですが、ドイツ人にとって森というのは、心の拠り所みたいな位置付けであるなという風に感じました。住んでいた街はハノーファーという、北ドイツにある人口10万人位の街で、音楽大学が街のど真ん中にありながらも、森の入り口に建っているんですね。その森というのは南北2kmに渡って続いているんです。で、レッスンでうまく弾けなかった時とか、ホームシックにかかって帰りたくなっちゃった時なんかは、よく泣きながら森の中に入って行っっては、ベンチで楽しそうに泳いでいる鴨さんを眺めながら、“ああ、頑張らなくちゃな、でももう頑張れないな”と悩んでいたことをよく思い出します。春になると、凍っていた池の水が溶け始め、オシドリのカップルが泳ぎ始めて幸せそうにしている、裸だった木に緑がついて…。夏になると暑いんですけど、ドイツには冷房がないので、みんな森の緑が覆っている所に行って涼んでいたし、秋になって、雨がしとしと降ると感傷に浸ってみたい、そんな感じで一年を過ごしていました。多分ドイツ人にとって森というのは四季を感じる場所で、深く考えた時とか、リラックスしたい時とか、常に身近にあるものだと感じました。この曲は、まず森に入って、狩人に会ったり、ちょっと不気味な場所があったり、気持ちがいい場所があったり、ちょっとだけお休みできるような宿屋があったり、不気味に鳴く予言の鳥がいたり、そして森から足を踏み出してまた街に戻って行くっていう、そういうシーンが描かれています。一つ一つは短いんですけど、内容はとても濃い曲ですので、お楽しみ頂けたらと思います」。そして、表情豊かな演奏で、前半の部が終了しました。

後半はいよいよ大曲の演奏です。矢島さんのこの曲に注いだ熱い思いが語られました。「後半は、フランクのヴァイオリン・ソナタをピアノ独奏版に編曲されたものを演奏したいと思います。この曲はピアニストからも大人気の曲で、とにかく伴奏が難しい。でも、美味しいメロディは全部ヴァイオリンが弾くし、しかも難しくないらしいのです。“ちょっとこの理不尽さは何かしら～”って思っていて…。私もこのメロディを弾いてみたいなど思っていた所、19世紀に活躍したコルトーというピアニストがピアノ用に編曲したものがあったんですね。楽譜を購入してみたら“これ絶対弾けないよね～”っていう位、音の数が多くて、“昔の名手達は大変な手で、弾けちゃうのかな”とか自己嫌悪になりながらも、ちょっとずつ指使いを探したり、左手で取る所を右手で取ってみたいと、私なりに仕上げてみました。因みにフランクはベルギー人で、敬虔なキリスト教徒でした。それで教会で活躍し、人生の最後の3～4年の間に、代表曲を殆ど一気に書き上げたんですね。そのうちの一曲が「プレリュードとフーガ」というピアノの作品ですが、**12月に発売された私のCD**に収録されておりますので、ぜひお聴き頂けたら嬉しいです。その作品とほぼ同時にこのヴァイオリン・ソナタは書かれていたんですけど、当時、大変有名なヴァイオリニストであったイザイの結婚祝いに書いた1曲なんですね。4楽章で書かれていますが、最初瞑想していて、そのあとドラマがあって、それから一人で歌いながら海辺に佇んでいる。最後は喜びの教会の鐘が鳴っているような…。友達が“この曲はマリッジブルーだ”と言っていた事もあるんですけど、私は、“人生”の様な曲だと思っています。1楽章からずっと通して聴くと山あり谷あり、そして4楽章の頭は、老夫婦が楽しく手を繋いで歩いていて(チャーミー・グリーンズの宣伝が昭和の頃ありました)、祝福されているような、そういう曲だなと感じています。どうぞお楽しみ下さい」。熱い演奏が終わり、万雷の拍手が送られ、アンコールに応じて下さいました。

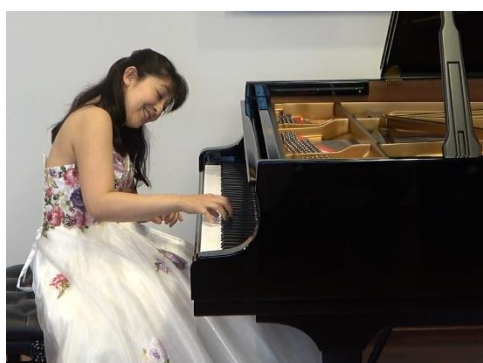
「こんな大曲弾いた後に息が上がっちゃってアンコールはどうかと思うんですけど、でもせっかくモーツァルト・サロンに来たので、モーツァルトを弾いて帰りたいと思います。モーツァルトの“ロンド(ニ長調 K.485)”を弾きます」。

モーツァルトの可愛い名曲で熱いリサイタルは終了致しました。

アンケート集計結果 ご協力ありがとうございました。

矢島愛子さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪ 3年半前に拝聴した時と変わらない迫力です。また拝聴したいです。
- ♪ 大がかりなプログラム本当に大変でしたね。全部の声部が立体的に聴こえて来て、素晴らしかったです。
- ♪ 今回のプログラムでは初めての曲が2曲、編曲が1曲と楽しませて頂きました。特にコルトーの編曲は大変力強い演奏でした。永井さんとのプログラムも期待しております。
- ♪ 初めて聴きましたが大ファンになりました。※コルトーのソナタは指の技法の動きの素晴らしさに感激しました。今日は優雅な時間を過ごすことができました。感謝いたします。今後も楽しみにしております。モーツァルト・サロンでまたお会いできたらと願っております。
- ♪ 前回のシャコンヌの全曲暗譜演奏が強く印象に残り、また演奏を聴きたくくなりました。大変素晴らしい演奏でした。難曲をこなされ信じられません。これからの益々のご活躍を祈念してます。お人柄もとても素敵、演奏に表れますね。
- ♪ 前半の可愛らしい曲、フランクの大曲を楽しませて頂きました。素晴らしかったです！フランクのピアノ版は本当に感動しました。
- ♪ 心に染み渡る演奏でした。素晴らしいとしか言いようがありません。人間の感情を見つめてこられたのでしょうか。心の深淵に触れる素晴らしさがありました。ありがとうございました。
- ♪ モーツァルトの演奏中、時折垣間見せる笑顔が素敵。心から音楽を楽しんでいる様子に聴いている私たちも幸せになります。フランクは素晴らしかったです。今後も他の楽器や、オーケストラ曲のピアノ・ソロ版にどんどん挑戦してください。(ショパンpf協奏曲のsolo版、リスト編のベートーヴェンのSymphonyなど。)
- ♪ 素晴らしい演奏でした。かわいらしいモーツァルト作品とシューマンの子供の情景とどこことなく感じが近い様な作品で、ドイツのシュバルツバルトの黒い森での神秘的な情景が感じられて、初めて聴いた曲でした。フランクは映画の場面進行みたいにドラマチックに終える曲ですね！



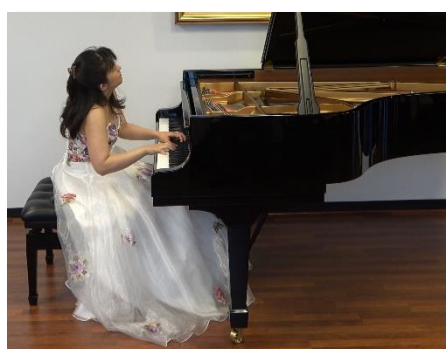
幕開けは、天上の世界へと誘われる
モーツァルト



モーツァルト
楽園にいます。



今日もとても楽しみに参りました。



シューマン：第1曲「森の入口」
ハノーファーの音楽大学を彷彿とさせます。



シューマン：第5曲「気持のよい風景」
心の癒しを与えてくれる



シューマン：第8曲「狩の歌」
狩人にも出会います。

♪いつも授業でお世話になっております。矢島先生が1つ1つの音を心を込めながら真剣に弾く姿はまぶしくて、かっこよかったです。ピアノの道を極めるために自分と向き合い、困難も乗り越えてきたお話も印象深かったです。矢島先生はいつもニコニコとしていて優しい印象しかなかったのですが、今日の演奏を聞いて、私の想像を越えるくらいの努力家だということが分かりました。私も上手い出来ないことがあっても、前を向いて一步一步自分を高めていけるように頑張ろうと背中を押されました。本当に素晴らしい演奏を届けてくださり、ありがとうございました。ゆっくり休んでくださいね。

♪3年程前に銀座ヤマハホールで開催されたりサイタルを拝聴したのをきっかけに生まれたともいえる私の小説「奇跡の軌跡」をプレゼントさせていただきました。しかし超絶技巧以上の難曲お疲れ様でした。相変わらず迫力満点のすばらしい演奏ありがとうございました。

♪自動オルガン、矢島さんの手にかかるると素敵なピアノ曲になってしまうのですね。この曲にはトークがなかったので、なぜ選曲されたのか聞いてみたかったです。森の情景、矢島さんのお話は単なる楽曲の解説ではなく、ご自身と作品とのかかわりを語ってくださるのでとても興味深く、さらに演奏を楽しむことができます。天才としか思えない矢島さんでも、うまくいわずに森の中で落ち込んでいたりすることがあったのですね。ヴァイオリン・ソナタ、オーケストラのような色彩豊かでスケールの大きい演奏に圧倒されました。コルトーは未来の矢島さんのために編曲したのではないのでしょうか。夢を見るような甘美と妖艶な美がもつれあうような本当に魅惑的な演奏でした。(魔性の女?) 矢島愛子さんだからこの曲の魅力が一層際立つのだと思います。それにしてもアンコールのロンドまですごいプレイ。野球でいえば先発して9回に160kmを出しているようなもの。大谷超えてる!?

～矢島さんからの答え～

私はこの曲から、晩年のモーツァルトの作品特有の、天上の世界に連れていってもらったような、まるで楽園のような美しさを感じます。まさにこのモーツァルト・サロンでのコンサートの幕開けにぴったりだと思い、1番最初の曲に選びました。

※モーツァルト・サロンより

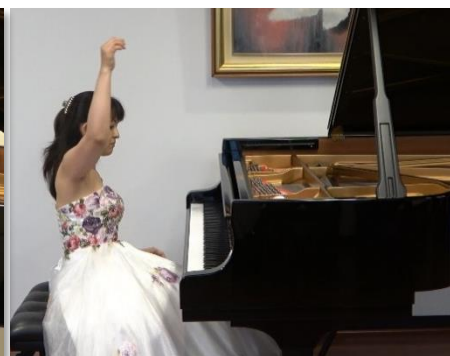
今回から、コロナ禍で控えていた温かい飲み物の提供を再開致しました。久々にお客様との触れ合いができて、嬉しいひとときになりました。



「フランクのヴァイオリン・ソナタ」の美しいメロディーを弾きたかったのです!



フランク：第3楽章
人生山あり谷あり



フランク：第4楽章
老夫婦が手を繋いで楽しく歩いているよう!



大曲を弾いた後で息が上がっていますが、モーツァルトを弾いて帰ります



アンコール
モーツァルト：ロンド ニ長調
あまりにも美しい曲です。



美しい花々に囲まれて最高の笑顔です。

第 82 回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

北村明日人ピアノリサイタル チケット発売中!

~2022 年ピティナ特級グランプリを獲得した旬の演奏を!~

2023 年 7 月 9 日 (日) 14:00 より 入場料: 3,000 円

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第 5 番 Op.10-1

ピアノ・ソナタ第 6 番 Op.10-2

ブラームス: 3つの間奏曲 Op.117

6つの小品 Op.118

※下記公演は全て 14:00 開演です。

第 83 回 2023 年 8 月 27 日 (日) 上敷領藍子&富永愛子デュオリサイタル

入場料: 3,000 円

第 84 回 2023 年 10 月 15 日 (日) ゴウ芽里沙ピアノリサイタル

入場料: 3,000 円

第 85 回 2023 年 12 月 3 日 (日) 佐藤卓史ピアノリサイタル ※日にち予定

入場料: 3,000 円

第 86 回 2024 年 2 月 18 日 (日) 魚谷絵奈ピアノリサイタル

入場料: 3,000 円

第 87 回 2024 年 4 月 14 日 (日) 永井公美子&矢島愛子デュオリサイタル

入場料: 3,000 円

チケットのご購入: お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人 国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み: 記号 10150 番号 70038231

②他の金融機関からのお振込み: 店番 018 普通預金 7003823

みずほ銀行 赤羽支店 普通預金 2093151

※ クレジットカード決済をご希望の方は Pass Market よりご購入いただけます。
詳しくは同封のチラシをご覧ください。

♪『ピアノ三重奏による モーツァルト・サロンのクリスマス』 1,500 円 (税抜き)



当団が 2016 年に柿沼唯先生に委嘱した
クリスマスの三重奏曲を是非 CD にというお声に応え、
若手の錚々たる演奏家を得て
華やかでクリスマスの喜びに満ちたアルバムにいたしました♪

モーツァルト: ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564
チャイコフスキー=柿沼唯: 「くるみ割り人形」より花のワルツ
(2016 年委嘱作品)

柿沼 唯: クリスマス・メドレー
(2016 年委嘱作品)

演奏: 上敷領藍子 (Vl) 三井静 (Vc) 佐藤卓史 (Pf)



魚谷絵奈先生

モーツァルト・サロン ピアノ教室

指定の月・水曜日

現役のピアニストとしても活躍される魚谷絵奈先生と青木沙耶花先生による
ワンランク上の個人レッスン。ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

・月額制: 10,000 円~ (30 分~/ 年 40 回)

・1 レッスン制: 6,000 円~ (60 分~)



青木沙耶花先生

お問い合わせ: 一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-0045 東京都北区赤羽1-54-5 メトロAIビル 5F

TEL: 03-5939-9535 FAX: 03-5939-9536

HP: <http://www.kokusai-ikuei.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/mozartsalon>

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。